

家庭ほけんニュース

(第 105 号 2025 年 4 月)

公式 HP

公式LINEはこちら



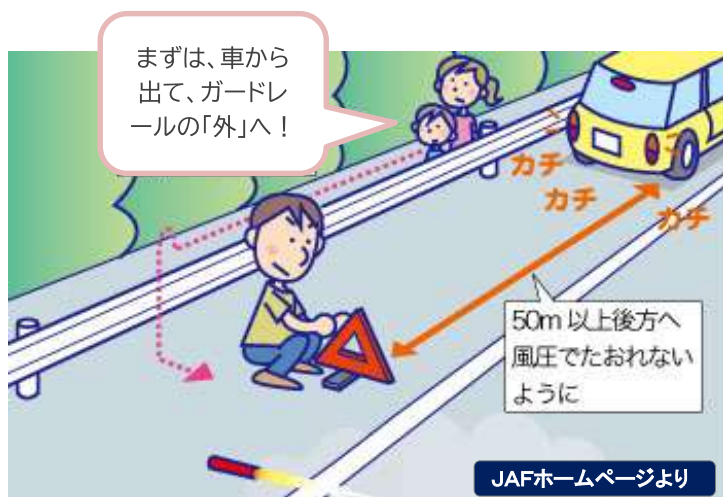
料金後納

ゆうメール

「三角表示板」「発炎筒」の適切な使用方法 ★★



- 高速道路上での停車では、事故や故障時の安全確保が最優先です。その際、「三角表示板」と「発炎筒」は不可欠な装備となります。
- は、後続車両に注意喚起を行うことで二次事故を防ぎます。特に高速道路では車両速度が高く、停止車両が視認されにくいいため、早めの警告が命を守る鍵となります。車両停止位置から後方約 50 メートル以上(夜間や視界不良時は 100 メートル以上)の距離に設置します。
- は、視界が悪い夜間や悪天候時に効果的で、発炎による視覚的アピールで緊急事態を周囲に知らせます。これらの装備は道路交通法でも車載が義務付けられており、その使用方法を把握しておくことが重要です。車両停止位置の後方で使用し、早期に後続車へ危険を知らせます。
- と  の位置関係を守ること、他車の注意を引き、二次事故のリスクを軽減できます。万が一の際に迅速に対応できるよう、車内の取り出しやすい場所に保管し、定期的に点検する習慣をつけるべきです。安全なドライブのために、三角表示板と発炎筒は必須の備えです。



上図の赤い点線のように、ガードレールの「外側」を移動しながら、三角表示板等を設置することで、二次災害リスクを抑制できます。

三角表示板の「表示義務」と「違反」

- 一般道路では表示の義務はありません。
- 高速道路(自動車専用道路含む)で自動車を停止させる場合は、表示義務があります。
(注)高速道路で停車時に使用しないと、違反点数1点、反則金 6 千円(大型車 7 千円)の罰則が課せられます。



